

1	.....	目 次	1
1	.....	編者の謝辞・巻頭	2
1	.....	編者の謝辞・巻尾	3
1	.....	編者の謝辞・巻末	4

# 平成23年度(平成22年度対象) 教育委員会の点検・評価報告書

2011年(平成23年)9月  
藤沢市教育委員会

28	.....	関係機関・関係団体等との連携	28
29	.....	関係機関・関係団体等との連携	29
30	.....	関係機関・関係団体等との連携	30

## 目 次

### <はじめに>

1 趣 旨	-----	1
2 点検・評価の対象	-----	1
3 点検・評価の方法	-----	1
■ 外部評価員	-----	2

### <点検・評価結果>

■ 平成23年度（平成22年度対象） 教育委員会点検・評価対象事業一覧	-----	3
■ 外部評価員からの総合的な意見・アドバイス	-----	3
No.1「教育文化センター研究研修事業」	-----	4
No.2「中学校学習支援事業（学校支援事業関係事業）」	-----	6
No.3「要保護準要保護児童生徒援助事業」	-----	8
No.4「教育情報機器関係事業」	-----	10
No.5「学校図書館管理運営事業」	-----	12
No.6「管理諸室等空調設備工事事業」	-----	14
No.7「学校給食単独校化推進事業」	-----	16
No.8「生涯学習推進事業」	-----	18
No.9「NPO法人による図書館運営事業 （総合市民図書館運営管理事業）」	-----	20
No.10「広域連携展示事業」	-----	22
No.11「スポーツバリアフリー事業 （スポーツ施設整備事業）」	-----	24
No.12「学校・家庭・地域連携推進事業（地域分含む）」	-----	26

### <参考>

■ 藤沢市教育振興基本計画体系図	-----	28
■ 平成22年度教育委員の活動状況	-----	29
■ 平成22年度教育委員会審議案件	-----	30

## はじめに

### 1 趣 旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（以下「地教行法」という。）第27条第1項において「教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。」とされています。

これまでも教育委員会の活動については、教育委員会会議の公開や、広報紙、ホームページなどにより、広くお知らせしてまいりました。

また、市議会においても、本会議、こども文教常任委員会、予算等・決算特別委員会で審議、ご意見をいただいておりますが、今年度につきましても平成22年度事業について点検・評価を実施し、結果を報告書にまとめました。

### 2 点検・評価の対象

点検・評価の対象事業につきましては、教育委員会各課で実施した平成22年度の主に政策的経費に係る事業を対象としました。また、点検・評価の結果をPDCAサイクルにより、次年度の事業予算、事業実施に反映させるため、平成22年度をもって終了した事業は除外することとし、平成23年度からスタートした「藤沢市教育振興基本計画」を見据え、計画の7つの基本方針に沿った形で事業を抽出し、その中から、今後の方向性を確認したい12事業を今回の点検・評価の対象事業としました。

### 3 点検・評価の方法

(1) 点検・評価に当たっては、事業の進捗状況、効果・成果等を明らかにし、課題・問題点を分析し、課題解決の具体的方法を検討しました。

(2) 地教行法第27条第2項の規定を踏まえ、教育に関し学識経験を有する外部評価員から、様々なご意見・ご助言をいただきました。

(3) 実施方法としては、平成22年度の事務・事業を取りまとめた「事務事業評価シート」等を活用することとしました。

■外部評価員

(敬称略)

氏 名	役 職 等
高 橋 勝	横浜国立大学教育人間科学部教授
新 井 秀 明	横浜国立大学教育人間科学部教授
由 崎 一	藤沢市PTA連絡協議会会長

【参考】「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」～抜粋～

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第三項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

■平成23年度(平成22年度対象)教育委員会点検・評価対象事業一覧

(全12事業)

No.	事業名	担当課
1	教育文化センター研究研修事業	教育指導課
2	中学校学習支援事業(学校支援事業関係事業)	教育政策推進課
3	要保護準要保護児童生徒援助事業	学務保健課
4	教育情報機器関係事業	教育指導課
5	学校図書館管理運営事業	教育指導課
6	管理諸室等空調設備工事事業	学校施設課
7	学校給食単独校化推進事業	教育総務課
8	生涯学習推進事業	生涯学習課
9	NPO法人による図書館運営事業 (総合市民図書館運営管理事業)	総合市民図書館
10	広域連携展示事業	生涯学習課
11	スポーツバリアフリー事業 (スポーツ施設整備事業)	スポーツ課
12	学校・家庭・地域連携推進事業(地域分含む)	生涯学習課

■ 外部評価員からの総合的な意見・アドバイス

● 今回の点検・評価の対象となった12事業に関しては、全体を通して支持したいと思います。

藤沢市教育委員会が、まちづくりと一体となって学校教育、社会教育を進めていることを評価します。

まちを単なる消費の空間として見るのではなく、自分たちの生活する場として捉え、そこで人間関係をつくったり、様々な世代が生活をする場所として見るべきであると思います。こうしたことから、藤沢市には、生活をする場所として、ずっと住み続けたいと思えるまちづくりを望みます。そういうものの一環として教育や文化事業が必要であると思います。

学校を支えるために地域が頑張るのではなく、地域のバトンを渡す次の世代が学校に居て、一緒にいいまちをつくっていく、そういう感覚が平成22年度事業の流れの中には見えると思いますので、この流れを支持したいと思います。

● 個別事業の目的と効果・成果の関係については、簡単には評価しづらい面があるような気がします。

例えば、教員の資質向上に関して、ある先生が初任から中堅、ベテランになっていくプロセスを考えたとき、どういうふうに資質を向上させていくのか、そのためにそれにふさわしい研修のプロセスというのはどうあるべきなのかといった、全体的なプログラムや総合的な視野が必要であると思います。そういう中で、個別の事業が位置付けてくるものと思います。

ある事業がうまく機能したり、機能しなかったりということがあるかもしれませんが、全体像がわからないと個別の事業だけを単独で評価するのは難しいと思います。

そうした意味で、来年度は、「教育振興基本計画」の政策体系に基づいた評価をするということが大事であると思います。

● 今回の外部評価については、日頃、学校で見て感じたことや保護者の声を伝えることができました。また、外部評価の方法については、フリートーキングのようにその場で話をしてまとめるなど、少し工夫の余地があると思います。